

評価シート（年度評価）

名古屋市演劇練習館の管理運営状況

1 基本情報

<所管局:観光文化交流局>

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市演劇練習館の管理		
評価対象期間	平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月	指定管理期間	平成 30 年 4 月～令和 5 年 3 月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(3) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	◎	・利用率 99.2%（1 月末時点）で、計画値と同等、対前年度比 1.8 ポイント増
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・P R の実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応できているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
施設案内や利用料金を示したパンフレットを使って営業活動を実施したり、SNS等で施設の空き情報を発信するなどの取り組みの結果、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の1月末時点での利用率は、全室平均利用率99.2%と非常に高い水準を達成した。 施設を利用する団体の総合的な発表会であるアクテノン・フェスティバルは、日頃の練習の成果を発表する場としてだけでなく、地域住民が演劇練習館を知り文化芸術に触れるきっかけとしても機能している。参加団体数が過去最高となり様々なジャンルの団体が出演したため、来場者満足度も高く、文化芸術の発信拠点としての役割を果たしているといえる。

施設の現状

演劇練習館

施設の現状	施設概要							
	演劇その他の舞台芸術の練習の場を市民に提供することにより、芸術文化の振興に寄与するために設置された施設です。具体的には、リハーサル室や練習等施設の貸出や、子ども向けワークショップや演劇情報の提供等の主催事業を行っています。							
	市の収支状況(千円)（元年度決算見込み額）							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	
	47,415	6,241	53,656	0	216	53,440	53,656	13,720
	特記事項							
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	利用率(全室の平均)		%	99.6	99.4	99.6	98.3	
	収支率		%	25.6	25.2	26.0	23.6	
	特記事項							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載